

登録団体紹介 NO.4～ 益田市柿本人麿公顕彰会 ～

益田市柿本人麿公顕彰会とは？

柿本人麿は万葉集の代表的歌人で、持統・文武朝の宮廷歌人「歌聖（歌人の中でも特に和歌に優れた人物のことを指す）」と称えられ、地元の小中学校、高等学校の校歌でも愛誦あいしょうされています。柿本人麿公顕彰会は、柿本人麿の偉業を顕彰し、人麿にまつわる諸事業をすることによって、ふるさと益田の発展に寄与することを目的として、平成3年に発足しました。現在は、個人会員170名、法人会員50社で活動しています。

益田市柿本人麿公顕彰会のイチオシ事業 ～2023年「柿本人麿没後1300年祭」に向けて～

益田の誇るべき歴史・文化の宝である“歌聖”柿本人麿公は、600年代後期に生誕し、700年代初期に益田で終焉を迎えたとされています。そして、3年後の2023年に没後1300年を迎えます。この記念すべき年を迎えるにあたり、益田市柿本人麿公顕彰会では、益田市民でつくる「柿本人麿没後1300年祭」を企画することにしました。

次のような3つの大きな柱を立てて、具体案を検討していきます。

三. ふるさと教育の充実と歴史・文化の伝承

- ① 出前授業の提供
- ② 子供向け歌集「ひとまるさん物語」の制作
(絵本・漫画・アニメ・紙芝居など)
- ③ 子ども観光ガイド標識の作成
(子どもたちの参画) など

二. ソフト面の促進と「人麿のまち」の意識化

- ① 式典・講演会・シンポジウム
パネルディスカッションなどの開催
- ② 人麿に関わる演劇・音楽・合唱
神楽などの発表公演
- ③ 益田市文化協会・島根県立万葉公園等
諸団体との連携

一. ハード面の整備と「人麿のまち」の見える化

- ① 人麿・万葉の世界を目で見て
想起しやすい仕掛けづくり
- ② 歴史・文化のまちづくりと万葉エリアの整備
- ③ 観光案内標識の整備など

◇この活動への思い◇

過去には没後1000年祭、1200年祭、1250年祭、直近は1275年祭が戸田・高津柿本神社で開催され、2023年で1300年となります。この記念すべき年を益田市全体で盛り上げることで、ふるさと益田の歴史・文化を広く発信・継承し、それを生かすまちづくりに貢献していきたいと考えています。

主な活動内容

- ◇年間約6回の研修会（講演会・フィールドワーク）
- ◇ひとまるさんカルタ大会
- ◇ひとまるクイズウォーキング
- ◇会報あしびき（会員向け広報紙・年2回発行）
- ◇「益田の人麿歌集」（2019年10月31日発行）
- ◇人麿マップ「ますだしひとまるぶらり旅」

ひとまるさんカルタ大会



ひとまるクイズウォーキング



益田の人麿歌集



「益田の人麿歌集～愛しき妹と海のうた～」が昨年10月に完成しました。大文字・フルカラーで読みやすい内容となっています。ぜひとも、一度お手に取ってご覧ください。
☆販売先☆
益田市観光協会、島根県立万葉公園管理センター、公民館（小野・高津）
島根県立芸術文化センター「グラントワ」、BOOK CENTER JUST 高津店
価格：1冊 1,000円

益田市柿本人麿公顕彰会の今後の目標！

「柿本人麿没後1300年祭」の成功を目指す

会員1000人を目指し、市民が中心となって取り組む

市内の関係団体や石見部の人麿ゆかりの地のある市町村と連携し、行政と共に成功を目指す

◇記事を見た方へ◇

益田市民の中には「益田には何もない」という人がいます。しかし、それは関心を持っていないだけで、益田には人麿・雪舟をはじめとした歴史・文化や山と海と川といった恵まれた自然環境などたくさんの宝があります。こうした足元にある宝に関心を持ってもらうことで故郷に自信と誇りを持って欲しい。そんな思いで活動しています。
3年後には柿本人麿没後1300年祭が行われる予定です。皆さんの参加をお待ちしております。

【会費】

個人会員：年1,000円
法人会員：年3,000円

【問い合わせ先】

益田市柿本人麿公顕彰会 事務局
TEL:0856-22-8755